



新しい日田の 森林・林業・木材産業振興ビジョン



令和5年度
取組内容

「日田もりビジョン」に掲げる 日田市が目指す森林・林業・木材産業



3つの施策に分けそれぞれに目指す方向性を提示

施策体系	目指す方向性
(1) <u>森林(もり)を守り・育てる</u> (森林、林業に関わる部分)	森林の多面的機能を将来にわたって享受できるように、森林の適正な整備、保全を目指す
(2) <u>森林(もり)を活かす</u> (木材産業に関わる部分)	日田材のブランド化を進め、素材生産から製材、流通、住宅等が一体となった、生産・販売の拡大を目指す
(3) <u>森林(もり)でつながる</u> (木育や市民協働、地域活性化、人材育成など)	積極的に「森や木」に関わってもらえるような体制づくりと森林・林業・木材産業を担う人材の育成を目指す

令和5年度「日田もりビジョン」の見直しについて

森林・林業は、長期的な視点が必要である一方、木材産業は刻々と変化する情勢に柔軟な対応が求められる。そのため、本ビジョンでは、長期的（50年後）な視点を見据えつつ、上位計画である「第6次日田市総合計画」の基本構想の終期(R9)に合わせ、令和元年度の第1次見直しにおいて、計画期間をH27からの13年としている。

また、総合計画の基本計画が4年周期で見直されることから、社会・経済情勢の変化等、柔軟に対応ができるよう今後は、4年(従来:5年)ごとに、必要に応じて見直しを行うもので、令和5年度は第2次見直しを行った。

＝社会・経済情勢の変化＝ （H26年度の策定後、令和元年度の改訂から4年が経過）

- 森林・林業基本計画（令和3年6月閣議決定）では、森林・林業・木材産業の「グリーン成長」の推進が掲げられ、森林を適正に管理して、林業・木材産業の持続性を高めながら成長発展させるという、2050年カーボンニュートラルも見据えた方針が示される。
- 森林所有、経営・管理に関する制度が新たに創設され、その後本格運用となり、森林の適正な経営・管理に向けた体制の強化が必要となっている。
→森林環境税の徴収開始・森林環境譲与税の満額交付（令和6年度）、
森林経営管理制度の浸透、相続土地国庫帰属制度の開始（令和5年）
- 線状降水帯の発生による豪雨で、山地被害や流木被害が続いており、なお一層の防災・減災対策が必要となっている。
→日田市においては、平成24年、平成29年、令和2年、令和5年に豪雨災害が発生



(1) 森林 (もり) を守り・育てる

① 多面的機能を発揮する豊かな森林づくり

- 水郷日田の森林づくり
- 災害に強い森林づくり
- 市有林の活用

【R5 年度実績】 ・ 森林防災流木等対策事業 (R4~) (溪流沿いの森林整備) 7,345 (譲与税) 【重点施策】

森林防災流木等対策事業



施工前



施工後

⇒平成29年7月、令和2年7月、令和5年7月豪雨災害を受け、県と市が協調して流木の発生や浸食の危険性が高い河川や溪流沿いの危険箇所および尾根急傾斜地の危険箇所の整備を実施。
(市：河川沿い 1.07ha、県：河川沿い 2.08ha、尾根・急傾斜地沿い 2.55ha)

・ 風倒木被害軽減対策事業 (R4~) (危険木の伐採・除去) 6,696 (譲与税)

⇒公民館等の防災拠点の裏山にある危険木伐採に加えて、送電線沿いの支障木の伐採。
(防災拠点：2団体600㎡、送電線沿い：1.5km、2か所300㎡)

・ 市有林多様な森づくり事業 (R3~) 29,476 【重点施策】

⇒市有林の主伐を進め、災害防除やバイオマス利用、早生樹・広葉樹等、多種多様な森づくり整備
主伐・再造林(植栽) 3.44ha、下刈り14.41ha、シカネット 1,653m

【R6 年度】

- ・ 森林防災流木等対策事業 8,000 【重点施策】 (譲与税)
- ・ 風倒木被害軽減対策事業 10,000 (譲与税)
- ・ 市有林多様な森づくり事業 28,523 【重点施策】

※R5年度は決算額、R6年度は予算額(単位:千円)

【重点施策】 = ビジョンの重点施策事業 (譲与税) = 森林環境譲与税活用 以降同様



○施策体系別目標値（森林を守り・育てる）

指標名 (基準年度:R4)	実績 (R5年度(次))	6年度(次)	7年度(次)	8年度(次)	目標値 (令和9年)	備考
1 再造林(植栽)面積	256.65ha	251ha	251ha	251ha	251ha	単年度
2 災害に強い森林 づくり整備面積	5.70ha	3.0ha	3.0ha	3.0ha	12.0ha	累計
3 多様な森づくり整備 面積	3.44ha	3.0ha	3.0ha	3.0ha	12.0ha	累計
4 シカによる農林産物 の被害額	6,108千円	6,221千円	6,022千円	5,824千円	5,625千円	単年度
5 シカの捕獲数	2,554頭	2,300頭	2,300頭	2,300頭	2,300頭	単年度
6 森林経営計画 認定率	79.3%	80.0%	80.5%	81.0%	81.5%	累計
7 作業道延長	1,496,211m (R4年度)	1,600,000m	1,700,000m	1,800,000m	1,900,000m	累計

○指標以外の目標

市有林の植栽において一貫作業システムやコンテナ苗の実証	市有林多様な森づくり事業実施
森林経営管理制度の着実な実施	森林経営管理推進事業実施

活↑(2)森林(もり)を活かす

①素材(丸太)の安定供給体制の整備

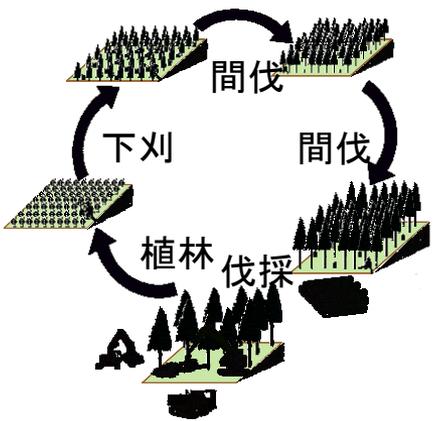
- 適正な素材(丸太)供給量の確保
- 素材(丸太)流通体制の強化

【R5年度実績】・森林整備総合対策事業(公共造林補助への上乗せ)(再掲)



ツインバンドソー

- ・林業・木材産業構造改革事業(木材乾燥機整備ほか) 28,895
⇒木材加工流通施設の原木流通施設整備に対し支援を行い、原木の安定的・効率的な供給体制を構築
- ・林業・木材産業構造改革事業(ツインバンドソー整備ほか) 23,210
(3・4年度繰越分)
- ・木材加工施設災害復旧支援事業(被災施設整備) 3,993
⇒令和5年梅雨前線大雨により被災した木材加工施設の復旧に対する支援



日田市内素材(丸太)生産量⇒

平成28年次	340千m ³	令和2年度	284千m ³
平成29年次	386千m ³	令和3年度	326千m ³
平成30年次	349千m ³	令和4年度	307千m ³
令和元年度	307千m ³	令和5年度	291千m ³



活 ②日田材の需要拡大・販売体制の強化

- 販路・販売拡大のための流通機能の強化 ● 地域一体となった日田材のブランド化

【R5年度実績】 ・ 木づかい促進事業（日田材・家具の支給） 49,491 **【重点施策】** ・災害分14件
 ・家具13件 **（一部譲与税）**



木づかい促進事業

		件数	請負代金 (千円)	全木材 使用量(m ³)	日田材 使用量(m ³)	日田材 使用率
住宅	新築	55	1,409,401	1,258	1,131	89.9%
	リフォーム	175	386,900	304	300	98.7%

・ 日田材普及啓発事業（国内・海外流通対策） 5,075 **【重点施策】** **（一部譲与税）**

⇒日田材（大径材製品）の海外販路開拓や広報宣伝活動への助成及び市内製材所等の労働環境整備への助成等（・外構材（633m³）のアメリカへの出荷助成 ・17事業所）



木の香る
まちづくり事業

・ 木の香るまちづくり事業 1,736 **【重点施策】** **（譲与税）**

（店舗リフォーム補助：日田市内5件、市外1件）

	件数	請負代金(千円)	日田材使用量(m ³)
店舗リフォーム	6	4,018	8.5

【R6年度】 ・ 林業・木材産業構造改革事業（木材乾燥機、帯鋸盤等整備） 91,944

⇒木材加工流通施設の木材処理加工施設整備に対し支援を行い、需要者ニーズに対応した木材製品の安定的・効率的な供給体制を構築

・ 木づかい促進事業（日田材・家具の支給） 59,900 **【重点施策】** **（譲与税）**

・ 日田材普及啓発事業（国内・海外流通対策） 8,639 **【重点施策】** **（一部譲与税）**

活 ②日田材の需要拡大・販売体制の強化（つづき）

- 木材製品のイノベーション推進・需要創造
- 中大規模の建築物等における木造化・木質化の推進

【R5年度実績】

・公共建築物等地域材利用状況

⇒日田市立つえっ子こども園など7施設 地域材利用材積 256.5m³

・小中学校机・椅子更新事業 50,611（一部譲与税）

（教育総務課予算）

⇒小・中学校の老朽化した学校机等を更新するもので、
日田家具工業会が製品開発した学校机椅子「きみの木」
を市内小学校の1・2年生等に導入（1,070セット）



つえっ子こども園



【R6年度】

・小中学校机・椅子更新事業 54,760（一部譲与税）

⇒市内小学校の5・6年生等に導入（1,119セット）



新規の学校机・椅子



大規模木造建築物

施設名：無印良品 日田
延床面積：2,625m²（外装材に日田材を使用）

※建築現場見学会やかまどベンチ製作
イベント等を実施



③森林資源の有効活用の推進

- 未利用森林資源等の有効活用の促進
- 特用林産物の振興

【R5年度実績】

- ・ 市有林多様な森づくり事業（再掲） 29,476

⇒花粉の少ない品種・早生樹・広葉樹の育成のモデル林等の整備



人工ほだ場によるしいたけ栽培

- ・ しいたけ生産後継者育成事業（機械導入等） 2,136

⇒新規参入者機械導入助成 1件、ほだ木造成助成 4件

- ・ しいたけ生産活性化総合対策事業（施設整備等） 4,355

⇒作業路整備助成 延長870m 施設整備（乾燥機・バックホウ）等助成 3件

- ・ しいたけ生産促進事業（種駒助成） 1,887

⇒うまみだけ品種を対象とした種駒に対する助成



大分県ブランド商品
「うまみだけ」

- ・ 市有林をワサビ圃場として貸出

⇒1.76ha、8名に貸出（R6.3.31現在）



森林を活用したわさび栽培

【R6年度】

- ・ 優良竹林化整備事業（タケノコ生産用竹林整備等） 2,736

⇒荒廃した竹林を優良な竹林に戻すための整備や作業道開設に対する支援

○施策体系別目標値（森林を活かす）

指標名 (基準年度:R4年)	実績 (R5年度(次))	6年度(次)	7年度(次)	8年度(次)	目標値 (令和9年)	備考
1 素材生産量	291,295 m ³ (R5年度)	329,000 m ³	334,000 m ³	339,000 m ³	344,000 m³	単年度
2 除間伐面積	351.87ha	361ha	361ha	361ha	361ha	単年度
3 木材製造品出荷額 (家具製品は除く)	19,832百万円 (R4年次)	17,399百万円	17,429百万円	17,459百万円	17,489百万円	単年度
4 乾燥木材生産量 (大分方式認証工場分)	103,853 m ³	106,600 m ³	106,600 m ³	106,600 m ³	106,600 m³	単年度
5 乾しいたけ生産量	80.3t (R5年次)	100t	100t	100t	100t	単年度
6 生しいたけ生産量	54.9t (R5年次)	80t	80t	80t	80t	単年度

○指標以外の目標

海外出荷や都市圏の顧客開拓への支援	関係機関との連携強化
関係機関と連携し、公共施設や公益性の高い民間施設の木造木質化の推進	森林環境譲与税等活用



(3) 森林 (もり) でつながる

- ①市民の森林・林業・木材産業への関心・理解、保全活動推進
 - 森林環境教育による市民意識の醸成
 - 市民参加による森林保全活動の推進

【R5 年度実績】 ・ 市民参加の森づくり事業 (植樹祭の開催) 520 **【重点施策】** (一部譲与税)

⇒萩尾市有林で筑後川流域圏と交流を含めた植樹祭を開催 (参加者 264人)

(一部譲与税)

・ 木と暮らしのフェア (イベントの開催) 1, 152

⇒主催：日田地域林業・木材産業活性化協議会 (参加者 800人)



木と暮らしのフェアチラシ



植樹祭

・ 木育推進事業 (講座の開催) 202 **【重点施策】** (譲与税)

⇒木育インストラクター養成講座の開催 (参加者 17人)



日田しいたけ生産協議会による
駒うち体験 (前津江小学校)



みどりの少年団による
枝打ち体験 (市内2団体)



企業参画の森林づくり
(R5年度：2社 市内累計 6社)

②森林資源を活用した地域の活性化

- 地域資源を活用した産業観光の振興
- 市民が集える森林空間の整備
- 域内外への情報発信強化



竹林を活用した
「千年あかり」

【R5 年度実績】



200海里の森づくり事業

- ・ 200海里の森づくり事業 500 (まちづくり推進課予算)

⇒筑後川上流(中津江村)の森づくり(下刈・植栽)を下流域の都市住民(福岡県)共に行い、水源地域の森林の大切さを再認識し、森林整備に対する意識の高揚を図る。(参加者 200人)

- ・ 大山ダム上下流交流事業 990 (まちづくり推進課予算)

⇒しいたけの駒うち体験、ノルディックウォーキング、ひと山まるごとガーデニング(下刈り)など福岡都市圏との交流。(参加者 286人)



大山ダム上下流交流事業

【R6 年度】

- ・ 産業観光推進事業(H29~ひたりずむ) 5,332 (観光課予算)

⇒林業・木材産業等を観光資源として市観光課や日田市観光協会、市内21の事業所と連携。

【重点施策】
(一部譲与税)



③森林・林業・木材産業を支える担い手の確保・育成

- 担い手の確保・育成
- 地域リーダーの育成

【R5年度実績】 ・豊かな森づくり担い手育成事業 24,192 (一部譲与税)

⇒林業の担い手の確保・育成を行うため、社会保険料等の一部助成や安全対策費の補助、林業就業希望者に対する支援やキャリアアップに対する奨励金の給付を行う。

- ・チェーンソー防護衣・安全靴、空調服等への購入助成 10事業体 対象者のべ120名
- ・造林作業者の新規参入者の育成支援に対する助成 (OJT研修) 9名
- ・「おおいた林業アカデミー」研修生への助成 1名
- ・「おおいた林業アカデミー」修了生に対する奨励金の支給 4名
- ・国が実施する林業研修の受講者に対する奨励金の支給 4名
- ・林業事業体による提案型の研修支援 2団体
- ・林業事業体の機械化 (ドローンの購入) に対する支援 1団体



造林作業者の植林研修



山仕事就業促進事業
現地研修

・山仕事就業促進事業 2,632 (譲与税)

⇒林業新規就業者確保のため、令和5年8月に業界団体の協力によって設立した「ひた森の担い手づくり協議会」による募集から現地体験、就業マッチングまでをパッケージにした参入者確保のための事業を行う。

・木造建築推進セミナーの開催 【重点施策】

⇒主催：日田木材協同組合

【R6年度】 ・豊かな森づくり担い手育成事業 32,164 (一部譲与税)

・山仕事就業促進事業 9,673 (譲与税)



○施策体系別目標値（森林でつながる）

指標名 (基準年度:R4年)	実績 (R5年度(次))	6年度(次)	7年度(次)	8年度(次)	目標値 (令和9年)	備考
1 産業観光年間視察団体数 (単独型)	315団体	330団体	345団体	360団体	375団体	単年度
2 森づくり大会参加者数	248人	200人	200人	200人	200人	単年度
3 SNS読者数(Facebook kフォロワー数)	651人	指標削除				累計
4 認定林業事業者数	20事業者	21事業者	21事業者	22事業者	22事業者	累計
5 新規林業就業者数	33人	20人	20人	20人	20人	単年度

○指標以外の目標

新規林業就業者確保を目的とした支援制度	林業アカデミー受講支援、奨励金給付
林業就業者への雇用安定対策の検討	森林環境譲与税等活用

【参考】令和6年度森林環境譲与税を財源とした事業一覧（現行予算）

番号	事業名	譲与税充当額	使途区分
1	森林経営管理推進事業	19,441千円	①森林整備
2	森林整備総合対策事業	71,800千円	①森林整備
3	風倒木被害軽減対策事業(旧:森林機能強化対策事業)	10,000千円	①森林整備
4	林道巡視維持改善事業	3,925千円	①森林整備
5	林道維持補修事業	30,000千円	①森林整備
6	林道作業道補修用原材料支給事業	40,000千円	①森林整備
7	森林防災流木等対策事業(旧:流木被害緊急対策事業)	8,000千円	①森林整備
8	林道台帳整備事業	28,222千円	①森林整備
9	豊かな森づくり担い手育成事業	14,190千円	②人材育成・担い手確保
10	山仕事就業促進事業	9,673千円	②人材育成・担い手確保
11	日田材普及啓発事業(R6.6補正)	6,800千円	②人材育成・担い手確保, ③木材利用の促進, ④普及啓発
12	木の香るまちづくり事業	3,740千円	③木材利用の促進
13	小中学校机・椅子更新事業(教育総務課)	31,667千円	③木材利用の促進
14	木づかい促進事業	9,400千円	④普及啓発
15	市民参加の森づくり事業	279千円	④普及啓発
16	木育推進事業	233千円	④普及啓発
17	森林・林業・木材産業に関する市民参加イベント・講演会	1,540千円	④普及啓発
18	産業観光推進事業ほか(観光課)	3,015千円	④普及啓発
19	日田の自然観察体験事業(博物館)	599千円	④普及啓発
20	本庁舎等改修事業(財政課)	2,500千円	④普及啓発
	■令和6年度森林環境譲与税額:290,880千円	小計:295,024千円	執行率:101%(取崩額:4,144千円)
累計	■令和元~6年度森林環境譲与税額:1,184,029千円	合計:1,094,284千円	留保額:90,817千円(利子1,073千円含む) 執行率:92%